

# ドリーム No. 709

発行日 2011年9月11日(日) 発行・文責 長坂 徳久

## 【と】

(9/1の授業より)

( )と( )

例

赤と白

えんぴつとけしごむ

ジャックと豆の木

長坂『〇〇と〇〇。たとえば、赤と白、えんぴつとけしごむ、ジャックと豆の木。思いつくものをできるだけたくさんノートに書きなさい。』

拳士「父と母」「未来と過去」たくさん出ました。

長坂『ほかにどうしても言いたい人?』

Tくん「トムとジェリー」(学童でDVDを観ることが多いから?)



『先生と同じのがありました。これです。』

「トムとジェリーや!」

トムとジェリー



『そう、トムとジェリーです。知っていることを発表してください。』

「仲よくケンカする」(次の発問の答えが出てしまう。(苦笑))

『そうだったっけ?』



トムとジェリー、

( )くけんかしな

『( )にはどんな言葉が入りますか?』

さきほどの、拳士の回答でみんなわかっていて、口々に言う。だから、こんなときは、

『はい、みんなで一斉に、トムとジェリー・・・』

「なかよく けんかしな!」



トムとジェリー、  
(なかよ)くけんかしな

『君たちはけんかしますか?』  
「する〜」「今日もした!」  
『何人ぐらいの人とけんかしたことありますか?』

トムとジェリーは仲がいいか?



『トムとジェリーは仲がいいのですか? いいと思う人? 悪いと思う人? それぞれ理由をノートに書きなさい。』

『発表します。仲がいいと思う人から。』  
「けんかするほど仲がいいというから。」  
「本当はなかよしだと思う。」

『仲が悪いと思う人。』  
「いつもケンカばかりしているから。」

なかよく、けんかする??

『なかよく、けんかするってあるのだろうか? どんな意味か書いてみなさい。』  
「けんかはするけど、本気じゃない。」  
「けんかしてもすぐに仲直りする。」  
「楽しくけんかしている。」  
「本当は仲がいい。」

『人間だから、けんかすることもあるね。でも、相手を許してやることも大切だね。』  
『少林寺拳法は、けんかをするために習うのではありません。けんかをしなくなるために少林寺拳法を習います。強くなると人にやさしくしてやれます。けんかをとめることもできます。きみたちも友だちとけんかするときは、トムとジェリーのようになかよくけんかしてください。(笑)』

道場の中には、学校ではよくけんかするという者同士もいる。特に低学年などにはよくあるだろう。

この日体験入門者があったこともあり、

- ① 少林寺拳法はけんかに使いません。
  - ② 少林寺拳法の拳士はみんなと仲良くします。
  - ③ 先生は、そんなことを厳しく見えています。
- ということを教える(わからせておく)ためにこの授業を作った。



二分ほどトムとジェリーの動画を観た。